

JAPIC NEWS

contents

■ 巻頭言

PMDAの新たな取組み ～4つの「F」の実現に向けて～

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 理事長 藤原 康弘 2

■ インフォメーション

第146回 薬事研究会 開催案内 5

■ トピックス

「日本の新薬-新薬承認審査報告書集-」92～97巻を発刊しました 6

JAPIC「医療用・一般用医薬品集インストール版2019年10月版」10月末発売! 7

日本臨床疫学会 第3回年次学術大会 に出展しました

JAPICサービスの紹介 8

⑤外部データベースを利用した文献検索(JAPIC-DBS)

■ 外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性に関する規制措置情報より(抜粋) 10

■ 図書館だより No.353 11

■ 情報提供一覧 11

11
November
2019
No.427

JAPIC
Japan Pharmaceutical Information Center

一般財団法人 日本医薬情報センター

巻頭言

kantohgen

PMDAの新たな取組み ～4つの「F」の実現に向けて～



独立行政法人
医薬品医療機器総合機構
理事長

藤原 康弘

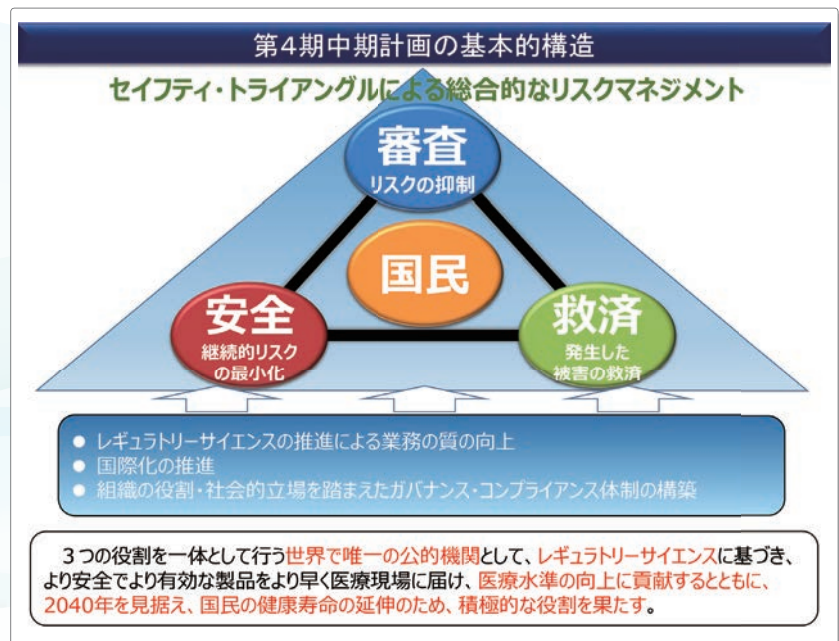
Fujiwara Yasuhiro

〈 PMDAについて 〉

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 (PMDA: Pharmaceuticals and Medical Devices Agency) は、独立行政法人 医薬品医療機器法 (PMDA法) 及び「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(薬機法) に基づき、「健康被害救済業務」、「承認審査業務」、「安全対策業務」の3つの業務を実施しています。平成16年4月1日に発足したまだ歴史としては浅い組織であり、発足当時の薬事行政はドラッグ・ラグ等、様々な課題を抱えていましたが、組織の強化等の対応を図ることによって、今では欧米の規制当局と肩を並べる機関に成長を遂げ、新薬の審査期間については、世界でトップレベルを堅持し、予見可能性の高い審査を実現できるようになりました。

〈 4つの「F」について 〉

私は、この4月にPMDAの理事長に就任しました。PMDAでは本年度から第四期中期計画に基づく業務を開始したところですが、これまでの歩みを止めることなく、業務のクオリティの向上に向けて、さらに様々なチャレンジをしていくことが必要であると考えています。そこで私は、就任にあたり次の4つの「F」に重点的に取り組むことを宣言しました。



- **Patient First**: 臨床現場と良好なコミュニケーションを築き、患者の満足度を最優先に業務を行います。
- **Access First**: 有効性と安全性の適切なバランスをとりつつ、国民が必要としている最善の医療に資する医薬品、医療機器等の患者アクセスをさらに迅速化することです。
- **Safety First**: 安全性確保に重点を置き、「条件付き早期承認制度」、「先駆け審査指定制度」という革新的な医薬品等を迅速に承認する制度に相応しい製造販売後調査や流通管理を効果的に実施する体制を構築します。
- **Asia First**: アジア各国の薬事規制調和に積極的に貢献し、日本のみならず、アジア地域の保健衛生の向上に資するとともに、我が国の制度に対する信頼を高めたいと思います。

〈PMDAの取組みについて〉

医薬品等の審査においては、世界に先駆けて革新的な医薬品等を日本で早期に実用化することを目指し、平成27年度より「先駆け審査指定制度」を試行的に開始しました。本制度はその指定を受けた場合、優先相談、事前評価の充実、優先審査、PMDA版コンサルジュ、そして再審査期間延長といった恩恵を受けることができるもので、本年6月末現在、既に8品目が本制度にて承認されています。また、医薬品及び医療機器では早期に実用化する「早期承認制度」、再生医療等製品では医薬品医療機器法に基づく「条件及び期限付承認制度」もあり、PMDAでは医療上必要性の高い医薬品等がより早く使用することができるよう厚生労働省と協力しながら様々な対応を行っています。

安全対策として、PMDAでは、製造販売業者や医療機関からの副作用等の情報収集を行うとともに、PMDAのホームページでは、添付文書、RMP、審査報告書、患者向医薬品ガイド等、医薬品の有効性、安全性に関する情報を提供しており（<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuSearch/>）、また、登録すると日々最新の情報が皆さんの手元に届くことになる「PMDAメディナビ」という電子メール配信サービスを通じた情報発信に努めています。平成30年度には、医療情報データベースシステムであるMID-NET®（Medical Information Database Network）の本格運用を開始し、より迅速な安全対策等に貢献し安全対策業務の質を向上するための取組みを行っています。



また、新たにPMDAの業務に患者参画の推進を図っていきたくと考えています。具体的には、患者参画や患者との協同に向けたPMDAの取組みを検討するために、横断的プロジェクトチームとして、本年5月28日付で「患者参画に関するワーキンググループ」を設置しました。本ワーキンググループでは、2年後を目途に患者参画に係るガイダンスや国民や患者さんに対する広報の在り方などを公表する予定です。医薬品等の開発視点や安全対策について、患者さんにしか捉えられない課題を共有することは、製品開発及び安全対策に係る規制の適正化を図ることにつながると考えています。

さらに、PMDAの審査・安全・救済業務の「セーフティ・トライアングル」を支え、さらに発展させる取組みとして、レギュラトリーサイエンス及び国際化を推進していきたくと考えています。まず、「レギュラトリーサイエンス」とは、アカデミックなサイエンスにより得られた“Cutting edge（最先端）”な成果をどのようにすれば社会に最適な形で提供できるかを考える科学であると考えています。PMDAでは、レギュラトリーサイエンスを基盤とした各種取組みを進めてきましたが、これらの活動を一元化した組織で有機的に連携しながら行うことを目的として、平成30年4月に、レギュラトリーサイエンスセンターを設置しました。当該センターは、医療情報活用部、次世代評価手法推進部、研究支援・推進部の3部から構成され、医療電子情報を活用した安全対策手法の開発の研究やMID-NET®の運営管理、医薬品の申請データの電子的な集積、モデリング&シミュレーション手法や品目横断的な解析等の研究、先端科学技術への対応と情報発信を行うために科学委員会の運営やホライズンスキヤニング（どのような革新的技術が登場しつつあるかを網羅的に調査した上で、それらが規制に及ぼす影響の評価を行い、革新的技術に対する適切な規制構築に役立てる取組み）等の実施を行っています。また、患者レジストリなどのリアルワールドデータの活用等で世界をリードしていけるよう、PMDAでは、本年4月に医薬品・医療機器等の承認審査に資するレジストリの利用や品質管理に関する相談事業を開始しました。今後もレギュラトリーサイエンスを用いて合理的な仕組みへと改革し、日本で国際誕生日を迎える

“Cutting Edge”な医薬品の増加や開発コストの効率化にも貢献していきたいと考えています。

国際化の推進として、PMDAでは、平成28年に設置したアジア医薬品・医療機器トレーニングセンターを積極的に活用し、アジア規制当局のニーズを踏まえた効果的なトレーニング機会を提供することで、アジア各国との規制調和に積極的に対応していきたいと考えています。また、アジア諸国との二国間での協議やシンポジウムの開催等に積極的に対応するとともに、日本のレギュラトリーサイエンスに関する成果を英語で積極的に発信していきたいと思っています。このような取組みが日本のみならず、アジア諸国の患者さんが革新的な医薬品・医療機器等の恩恵を早期に享受できることにつながることを期待しています。

〈4つの「F」を実現するために〉

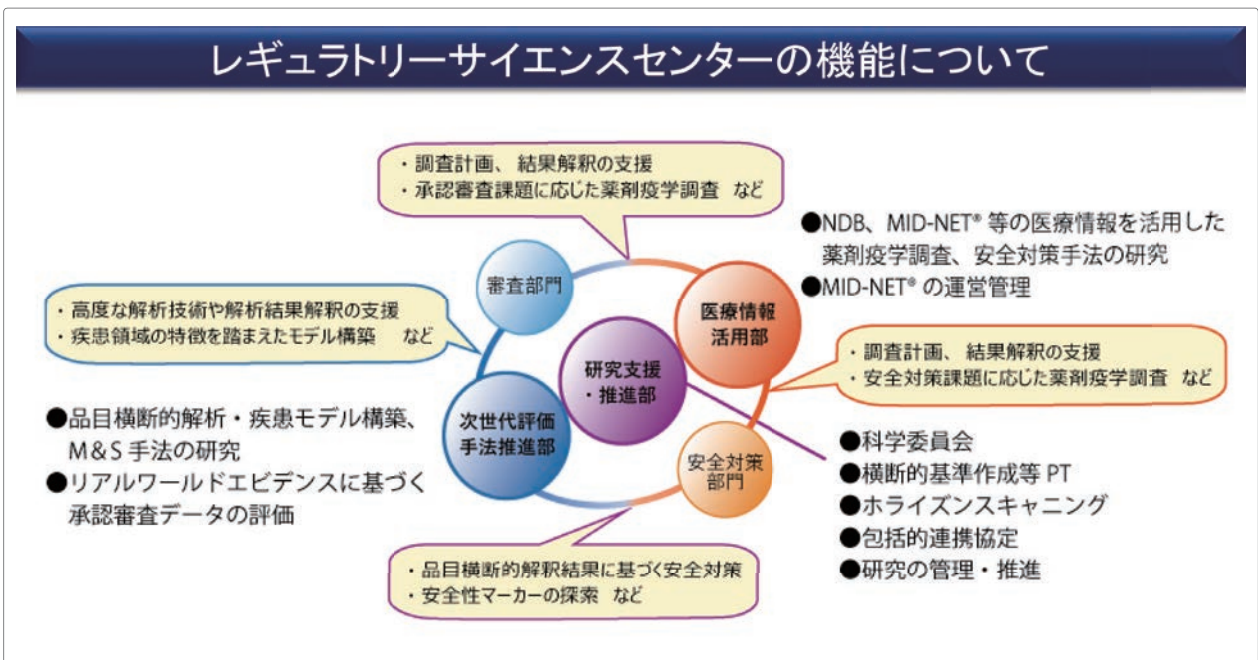
以上の取組みを今後さらに発展させ、4つの「F」を実現するには、次の3つのことを大切にしたいと思っています。

まずは「時間軸」です。私たちの仕事は、医薬品等のリスクとベネフィットとの比較考量を行い、それらを最適な形で世の中に出すことですが、有効性や安全性を100%確認するには実は膨大な時間がかかります。常に、現場には新薬等を待ちわびておられる患者さんたちがいることに思いを致し、適時適切な判断を行いたいと思います。

次に「臨床現場感」です。私たちの様々な措置により医療現場が影響を受けることになる以上、まず、私たち自身が、医療現場がどう動いているかを意識して、日々の業務に取り組むことが不可欠です。

そして、「サイエンス」です。PMDAは、「サイエンス」に基づき仕事をする組織であり、これから出てくる革新的な技術にタイムリーに対応していくことが強く求められます。

PMDAは、これら3つのことを念頭に置き業務に従事し、また前例に固執することなく、更なる高みを目指して新しい取組みに積極的にチャレンジし、国民の健康・安全の向上に寄与してまいりたいと思います。



第146回薬事研究会 開催案内

JAPICでは、医薬品・医療機器企業、医療機関、薬局の皆様等を対象に、薬事情報に関する「薬事研究会」を開催し、厚生労働省が推進する法制度の趣旨や実施内容等の周知を行っております。

今回の薬事研究会では、最近の医薬品に関する安全対策や医薬品産業政策の現状等について2名の方にご講演いただきます。

奮ってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

□日時：令和元年12月6日(金) 13:30～16:20

□場所：日本薬学会 長井記念ホール（東京都渋谷区渋谷2-12-15 長井記念館地下2階）

□プログラム

13:00～ 受付開始

13:30 主催者挨拶

13:35～15:05 「安全対策行政の最近の動向」

厚生労働省医薬・生活衛生局 医薬安全対策課長 関野 秀人 先生

15:05～15:20 休憩

15:20～16:20 「最近のPMDAにおける医薬品等の安全対策について(仮)」

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 安全対策第二部長 井口 豊崇 先生

16:20 閉会

* 演題・講師・時間等、一部変更になる場合もございますので、予めご了承ください。

□参加費：3,000円（JAPIC会員企業・機関にご所属の方は無料。当日会場でお支払いいただきます。）

□申込方法：JAPICホームページ 講演会・ユーズ会お申込みフォームからお申込みください。

（先着180名 定員になり次第、申し込み締め切りとなります。）

□お問合せ先：事務局 業務・渉外担当（TEL 0120-181-276）

<会場へのアクセス>



◇鉄道

JR・東急東横線・東急田園都市線・京王井の頭線・東京メトロ銀座線、半蔵門線、副都心線
渋谷駅下車

◇徒歩

JR渋谷駅東口から、六本木通りを高樹町方面へ
高速道路3号線沿いに8分

◇都バス

JR渋谷駅東口「学03日赤医療センター行」1つ目
「渋谷3丁目」下車すぐ。

「日本の新薬—新薬承認審査報告書集—」 92～97巻を発刊しました

承認された新医薬品(新有効成分・新医療用配合剤・新投与経路・新剤形など)の審査報告書を収載

我国の新医薬品は厚生労働大臣の名のもとに製造販売の承認がされます。その承認は、新薬承認審査報告書(以下審査報告書)に基づいて、薬事・食品衛生審議会の審議を経て行われますが、当該医薬品の審査経過、評価結果等を取りまとめ、「審査報告書」および「審議結果報告書」が作成されます。「審査報告書」は独立行政法人医薬品医療機器総合機構(以下PMDA)が、「審議結果報告書」は厚生労働省が作成し、承認後は承認取得者(企業)が作成した「申請資料概要」とともにPMDAホームページ上で公開されています。

「日本の新薬—新薬承認審査報告書集—」は、旧国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センター(1997年7月～2002年3月)およびPMDA(2002年4月～)で行われた新医薬品の承認審査の報告書をまとめて編集したものです。各巻とも訂正のある報告書については、本文中に修正前と修正後がわかるように編集しています。今回、平成30年1月～12月にPMDAから公表された審査報告書(審議結果報告書を含む)67品目を承認月順に収載し、92巻から97巻の6分冊にまとめて発刊いたしました。

審査報告書は少なくとも新薬の承認時において、批判的判断が加わった最も信頼のおける資料です。本書を今後の新医薬品の開発の計画と実行、薬事対応に役立てていただければ幸いです。

また、臨床試験における副作用に対する考え方や判断のポイントなど、添付文書やインタビューフォームではわからない情報もあり、市販後調査部門や医療機関においても重要な情報(判断を伴った)が満載です。さらに、医薬品にはどのような試験が必要か、その手順など、医学・薬学教育においても参考にしていただけるものと確信しております。

なお、簡単な操作で検索・閲覧ができるデータベースとして、「日本の新薬—新薬承認審査報告書DB—」をJAPICの医薬品情報データベースiyakuSearch上で公開しております。冊子体とともに、是非ご利用ください。

◆価格: 各巻 ¥22,000(+税)・B5判

6巻セット(92～97巻) ¥66,000(+税)

※上記価格とは別に、JAPIC 維持会員様向けの割引価格をご用意しております。

〈お問合せ先:事務局 業務・渉外担当 TEL:0120-181-276、FAX:0120-181-461〉



JAPIC「医療用・一般用医薬品集インストール版2019年10月版」 10月末発売!

◇医療用および一般用医薬品の添付文書情報を収録したWindows対応CD-ROM。

(医療用は2019年10月、一般用は2019年9月までのJAPIC入手分を収録)

◇製品情報、医薬品集本文データの検索・表示・印刷・データ出力が可能。

データ出力形式は、タブ区切り／カンマ区切りテキスト(csv)から選択できます。

◇薬価、先発品等／後発品情報、規制区分、剤形、添加物、

薬剤識別コード情報なども収録し、さまざまな角度から検索できます。

◇完全インストール仕様により、スピーディな検索・結果表示を実現。

インターネット環境のない薬剤モニタリング業務などにも最適です。

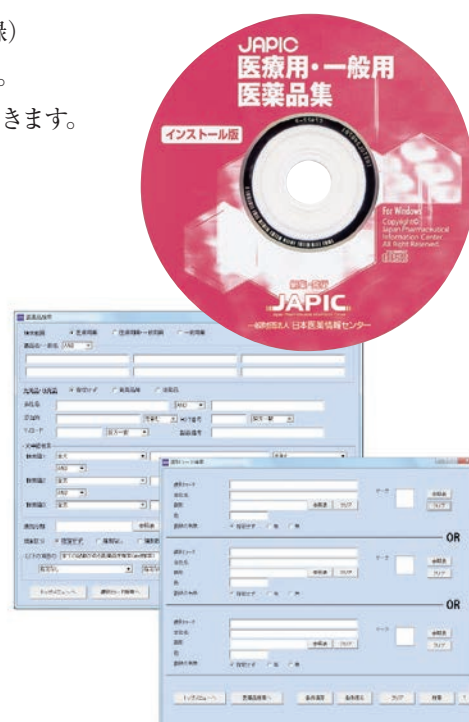
◇インターネット経由で、最新の添付文書PDFの表示も可能です。

(医療用:週1回更新、一般用:月1回更新)

◆価格:単回13,000円(+税)

年間セット4枚(10月・1月・4月・7月) 23,806円(+税)

〈お問合せ先:事務局 業務・渉外担当 TEL:0120-181-276〉



日本臨床疫学会 第3回年次学術大会に出展しました

2019年9月28日(土)から29日(日)にかけて、福岡市パピヨン24において開催された日本臨床疫学会 第3回年次学術大会に出展しました。日本臨床疫学会は「クリニカル・マインドとリサーチ・マインドを持つ医療者による質の高い研究を、ビッグデータを活用した研究などの振興と研究人材育成を通じて推進し、現在の医療が直面する諸課題の解決に貢献する」ことを使命に、real worldから得られるビッグデータを活用した研究結果を医療現場や政策に還元するための研究や、データベース研究を科学的・倫理的に企画・実施できる人材の育成、各種ビッグ・データベース事業との連携等の活動している学会です。

今回の出展では、大規模安全性情報サービス「JAPIC AERS」を中心に、JAPIC医薬品情報データベース「iyakuSeach」を展示いたしました。最近の学会でもビッグデータを用いた研究報告やポスター発表が数多く見受けられ、関心の高さが窺えます。展示ブースでも「JAPIC AERS」の利用についてご相談をいただきました。

JAPICでは、定期的に学会の企業展示に出展しております。お出かけの際はお気軽にお立ち寄りください。多くの方々のご意見やご要望をお伺い出来ることを楽しみにお待ちしております。



—医薬品・医療機器等の適正使用に役立つ品質・有効性・安全性に関する情報提供サービス—

5 外部データベースを利用した文献検索 (JAPIC-DBS)

医薬品 / 医療機器

海外

国内

文献・学会・感染症情報

随時/個別
対応

サービス概要

外部機関が作成している各種データベース(MEDLINE、Embase、医中誌Web等) を利用し、下記の情報について、ご希望の検索条件・検索頻度にて検索を行い、情報提供いたします。

- 医薬品・医療機器・再生医療等製品等の情報
- 生物由来製品の由来となる生物、原材料、原料または材料による感染症(人その他の生物から人に感染すると認められる疾病)に関する情報

データベースの選択から検索条件の設定まで、検索のエキスパートがご要望に応じて組み立て、ご提案するカスタマイズ性の高いサービスです。

検索条件

専門スタッフと相談しながらご希望の検索内容を組み立てることが可能です。

●安全性等に関する情報収集をご希望の場合

JAPIC-Qサービスと同様の安全性、有効性欠如情報をご希望の場合は、**内容に関する条件**と**対象に関する条件**を組み合わせた検索を実施いたします。

また、医療機器等の**不具合情報**を収集することも可能です。

検索内容

- ・安全性や不具合に関する情報
- ・承認を受けた効能若しくは効果を有しない情報
- ・有効性に関する情報

検索対象

- ・一般名・商品名・治験記号(開発番号)
- ・上位概念的な要素(栄養剤など)
- ・医療機器名 等

●感染症に関する情報収集をご希望の場合

「感染症定期報告」に係る調査内容(研究報告の調査方針*)に対応します。ご登録いただいた動物種毎に検索を実施いたします。

検索内容

- ・研究報告の調査方針に対応した各種感染症に関する情報

検索対象

- ・生物由来製品の成分または製品名
- ・動物種名

研究報告の調査方針*

- ・新たに判明した感染症に関するもの
- ・感染症の発生頻度の増加に関するもの
- ・新たに判明した感染経路に関するもの
- ・重大な感染症に関するもの

●その他ユーザ独自のカスタマイズが可能

詳細な内容についてはスタッフにご相談ください。

JAPICサービスの紹介

利用データベース

ご希望のデータベースを検索いたします。

- MEDLINE® (Dialog)
- Embase® (Dialog)
- 医中誌Web 等

検索頻度

ご希望の検索頻度で検索いたします。

- 週1回
- 月2回
- スポット 等

提供物

- ダウンロードデータ
- 検索結果報告書 等

提供媒体

- 電子メール

オプションサービスのご案内

ダウンロードデータを加工し、印刷に適したMicrosoft Word形式(.docx)への加工やJAPIC-Qサービスで提供している書誌・キーワードテキストファイルへの加工等、ご希望に沿った提供物の納品も承ります。

サービス開始までの流れ

お申し込みからサービス開始までは、最短で2週間程度いただいております。

なお、カスタマイズ内容等によって、サービス開始までに更にお時間をいただく場合がございます。



お問合せ先

事業部門 データベース検索サービス TEL 03-5466-1817 e-mail db-search@japic.or.jp
どうぞお気軽にお問い合わせください。

外国政府等の医薬品・医療機器等の 安全性に関する規制措置情報より－(抜粋)

2019年9月1日～9月30日分のJAPIC WEEKLY NEWS (No. 717-720) の記事から抜粋

■米FDA

- FDA Drug Safety Communication: 米FDA, 一部の進行性肝疾患患者におけるC型肝炎治療薬Mavyret, Zepatier, Voseviの使用による重篤な肝損傷の稀な発現について警告
<<https://www.fda.gov/media/130351/download>>
- 米FDAは、安全性の強化のため、革新的な設計の十二指腸内視鏡への移行を推奨している: FDA Safety Communication
<<https://www.fda.gov/medical-devices/safety-communications/fda-recommending-transition-duodenoscopes-innovative-designs-enhance-safety-fda-safety-communication>>
- Drug Safety Communication: Ibrance (palbociclib), Kisqali (ribociclib) およびVerzenio (abemaciclib) 一稀であるが重度の肺の炎症のため
<<https://www.fda.gov/safety/medwatch-safety-alerts-human-medical-products/ibrance-palbociclib-kisqali-ribociclib-and-verzenio-abemaciclib-drug-safety-communication-due-rare>>

■カナダHealth Canada

- Summary Safety Review: methimazole－膵臓の炎症(急性膵炎)の潜在的リスクに関する評価
<<https://hpr-rps.hres.ca/reg-content/summary-safety-review-detail.php?lang=en&linkID=SSR00231>>

■EU・EMA

- Press release: EMAは、NDMAの検出を受け、ranitidine医薬品をレビュー
<https://www.ema.europa.eu/en/documents/press-release/ema-review-ranitidine-medicines-following-detection-ndma_en.pdf>

■英MHRA

- montelukast (Singulair): 精神神経学的反応のリスクに関する再注意喚起
<<https://www.gov.uk/drug-safety-update/montelukast-singulair-reminder-of-the-risk-of-neuropsychiatric-reactions>>

■独BfArM

- Picato (ingenol mebutate): 皮膚癌のリスク発現に関するレビュー
<https://www.bfarm.de/SharedDocs/Risikoinformationen/Pharmakovigilanz/DE/RV_STP/m-r/picato.html>

■仏ANSM

- 非経口栄養剤: 早産児における重篤な副作用のリスクを低減するために、製品は光から保護する必要がある－医療専門家向けレター
<<https://www.ansm.sante.fr/content/download/165627/2165717/version/1/file/Dhpc-190903-Nutrition-Parenterale.pdf>>

■医薬品医療機器総合機構

- 「アスベリン錠」と「アスペノンカプセル」の販売名類似による処方誤りの注意のお願い
<<https://www.pmda.go.jp/files/000231098.pdf>>

■厚生労働省

- グレカプレビル水和物/ピブレンタスビル製剤(販売名:マヴィレット配合錠)の製造販売後調査及び適正使用への協力
のお願いについて
<<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T190904I0020.pdf>>

JAPIC事業部門 医薬文献情報(海外)担当

記事詳細およびその他の記事については、JAPIC Daily Mail (有料) もしくはJAPIC WEEKLY NEWS (無料) のサービス
をご利用ください (JAPICホームページのサービス紹介: <<https://www.japic.or.jp/service/>> 参照)。JAPIC WEEKLY
NEWSサービス提供をご希望の医療機関・大学の方は、事務局業務・渉外担当 (TEL 0120-181-276) までご連絡ください。

図書館で受け入れた書籍をご紹介します。

この情報は附属図書館の蔵書検索 (<https://www.japic.or.jp/iyaku/index.html>) の図書新着案内でもご覧いただけます。

これらの書籍をご購入される場合は、直接出版社へお問い合わせください。

閲覧をご希望の場合は、JAPIC附属図書館 (TEL 03-5466-1827) までお越しください。

〈配列は洋書、和書別に書名のアルファベット順、五十音順〉

書名	著者	出版者	出版年月
British National Formulary No.78 September - March2019	British Medical Association and Royal Pharmaceutical Societ	The Pharmaceutical Press	2019年9月
ViDAL 2019 Le Dictionnaire	ViDAL GROUP	Vidal	2019年
JAPIC一般用医薬品集 2020	一般財団法人日本医薬情報センター 編	丸善出版株式会社	2019年9月
科学・分析機器総覧 2019/2020	一般社団法人日本科学機器協会 編	一般社団法人日本科学 機器協会	2019年9月
後発医薬品名一覧<2019年7月版>	石崎 洋 編	中和印刷株式会社	2019年7月
周産期学シンポジウム抄録集 No.37	日本周産期・新生児医学会周産期学 シンポジウム運営委員会 編	日本周産期・新生児 医学会	2019年9月

情報提供一覧

2019年10月1日～10月31日提供

出版物がお手許に届いていない場合、宛先変更の場合はJAPIC 事務局 業務・渉外担当 (TEL 03-5466-1812) までお知らせください。

情報提供一覧	発行日等	JAPIC作成の医薬品情報データベース	更新日
〈出版物・CD-ROM等〉		〈iyakuSearch〉 Free	https://database.japic.or.jp/
1. 「一般用医薬品 (経済課コード)」 2019年9月分 (HP定期更新情報掲載)	10月 1日	1. 医薬文献情報	月 1 回
2. JAPIC 「医療用・一般用医薬品集インストール版 2019年10月版」	10月31日	2. 学会演題情報	月 1 回
3. 「日本の新薬－新薬承認審査報告書集－」 92巻～97巻	10月	3. 医療用医薬品添付文書情報	毎 週
3. 「JAPIC NEWS」 No.427 2019年11月号	10月31日	4. 一般用医薬品添付文書情報	月 1 回
〈医薬品安全性情報・感染症情報・速報サービス等〉 (郵送、電子メール等で提供)		5. 臨床試験情報	随 時
1. 「JAPIC Pharma Report海外医薬情報速報」 No.1202-1206	毎 週	6. 日本の新薬	随 時
2. 「医薬文献・学会情報速報サービス (JAPIC-Qサービス)」	毎 週	7. 学会開催情報	月 2 回
3. 「JAPIC-Q Plusサービス」	月 1 回	8. 医薬品類似名称検索	随 時
4. 「JAPIC-Q 医療機器情報サービス」	月 2 回	9. 効能効果の対応標準病名	月 1 回
5. 「外国政府等の医薬品・医療機器の安全性に関する 措置情報サービス (JAPIC Daily Mail) 」 No.4468-4488	毎 日	〈iyakuSearchPlus〉	https://database.japic.or.jp/
6. 「JAPIC Weekly News」 No.721-725	毎 週	1. 医薬文献情報プラス	月 1 回
7. 「感染症情報 (JAPIC Daily Mail Plus) 」 No.818-821	毎 週	2. 学会演題情報プラス	月 1 回
		3. JAPIC Daily Mail DB	毎 日

外部機関から提供しているJAPICデータベース

〈株式会社ジー・サーチJDreamⅢから提供〉 <https://jdream3.com/>

〈株式会社日本経済新聞社から提供〉 <https://telecom.nikkei.co.jp/>

医療用 医薬品集 2020



赤ジャピ40年の伝統を守り
薬剤師を中心とした
専門のスタッフが丁寧に作成しています。

好評発売中!



本書の特長

- ◆2019年6月後発品まで収録
- ◆約40年の編集実績による信頼と使いやすさ
- ◆国内流通全医薬品の最新で正確な添付文書情報をお届けします!
- ◆「薬剤識別コード一覧」を収録
- ◆更新情報メールの無料提供(要登録)
- ◆CD-ROM付
- ◆分冊にて製作(ケース入り)

Windows版

CD-ROM収録内容

- 医療用医薬品集
- 一般用医薬品集
- 薬剤識別コード一覧
- 薬価情報
- 後発品の全情報
- 添加物情報
- 最新添付文書画像(PDF)の表示機能付

要インターネット接続。医療用医薬品は週1回、一般用医薬品は月1回更新

13,000円(+税) B5判 約4,300頁(本文)

一般財団法人 日本医薬情報センター **JAPIC** 編集・発行
丸善出版株式会社 発売

上記書籍の他、電子カルテやオーダーリングシステムに搭載可能なJAPIC添付文書関連データベース(添付文書データ及び病名データ)の販売も行っております。データの購入希望もしくはお問い合わせはJAPIC (TEL 0120-181-276) まで。



このコーナーは薬用植物や身近な植物についてのヒトクチメモです。リフレッシュにどうぞ!!

ようさい

「薺菜」と書く。空芯菜(くうしんさい)とも呼ぶ登録商標である。
学名:Ipomoea aquatica Forssk. 英名:Aquatic morning glory。ひるがお科さつまいも属。つる性多年草。東南アジア原産。花期は晩秋、白色から淡紫色の漏斗形の花を付ける。湿地に自生、茎は中空で地を這って伸びる。野菜として畑に栽培、炒めもの等で食べる。脂肪酸配糖体aquaterin(抗肝腫瘍細胞活性)等含有。(hy)



JAPICホームページより
<https://www.japic.or.jp/>

HOME

サービスの紹介

ガーデン

Topページ右下部の「アイコン」からも閲覧できます。